

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名

公表日

令和7年

12月

24日

利用児童数

38

回収数28

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	1	0	1	・広いと思う	玄関スペースは、マットを新たに設置する等拡張しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	1	2	・それぞれの子供としっかり向き合っている感じが適切と思いました。 ・ほぼマンツーマンに近い形で、十分に見守って頂けていると感じています ・しっかり寄り添っていているのが伝わる為	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	1	0	2	・文字への興味が出てきているので、あらゆるものに、ひらがなやカタカナ、漢字など名前ラベルを貼ってこどもに学習させたいです。 ・生活空間を良くみた事ないので	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	2	0	2	・活動内容はわかりませんが清潔感があると思います。 ・清潔感はあるが、独特のにおいがするのが気になる。 ・基本的に教室の方は見ないので日々清掃されているかどうかなどはわからないと思います。	空気がこもりやすいので、換気を定期的に行う等、消臭対策を行います。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	0	0	1	・様々な資格をもった先生方が見てくださるので、フィードバック時、子どもの成長面での新発見が多いです。 ・フィードバックの時に理解してくださっていると思います。 ・専門的な資格をお持ちの先生や専門で学ばれている先生がいるので、安心して ・フィードバックの時にしっかり見てくださっていると感じる為	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	0	0	0	・面談の時に納得できる個別支援計画を立ててくださるので。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	0	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	0	0	1	・毎回説明してくださるのでそう思います。 ・入所してから日が浅いため。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	3	0	2	・入所してから日が浅いため。 ・発達の状況で工夫されていると思います	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	6	7	・近くにあるのだから、西日暮里ふれあい館のおもちゃやホールを使用させてもらえたらいいなと思います。交通ルールや、マナー、先生や利用者さんとの交流など。または、年長さんは就学に向けて、六日小学校での体験授業や生徒との交流など。小さい規模の学校なので、アットホームに優しくしてもらえると思います。 ・入所してから日が浅いため。	園訪問での交流は行っていますがそれ以外は実施していないのが現状です。 安全面やプライバシー保護なども考慮しながら実施できるか検討していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	0	・とても丁寧に説明してくださいました	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	0	6	・入所してから日が浅いため。 ・オンラインペアレントトレーニングに参加する機会を頂き、こどもへの関わり方のヒントを頂き有用だと感じました。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	0	0	1	・いつもよく理解できています。 ・入所してから日が浅いため。 ・フィードバックの時に相談させていただいてます ・帰りのお迎えで当日の出来事を報告して頂いてます	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	3	・質問すると丁寧に答えてくださるのでありがたいです。 ・入所してから日が浅いため。 ・定期的に声をかけていただいています	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	9	9	・そういったことは今までないです。	毎年要望は出ているので、実施に向けて前向きに検討していきます。
	19	ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	0	5		お子さんの成長に関するお悩みについての相談に関しては、要望に応じ適宜、面談などを行っている。要望に合わせて面談対応している事をあまり周知できていないので、今後は情報発信もしていくようにします。
	20	ごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	27	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	5	0	5	・訓練が実施されているかどうかは知らないです。	例年実施しているので、内容についての情報発信を事業所新聞や掲示板を用いながら、より細かく行うようにします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	1	10		同上。
	25	事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	1	3		同上。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	9	・これまでそのようなことはなかったです。事故がなかったのかもかもしれません。	大きな事故、怪我等が起きた事例はないが、万が一起きた場合には、事故対応マニュアルに沿った対応、報告が出来るようにする。
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	25	3	0	0	・毎回とても楽しみにしています。好きな先生がいるようで「今日は誰かなあ」とワクワクしています。 ・楽しそうに部屋に入っていきます ・とても安心感を持ち楽しみながら通ってます ・嫌がらずに行っています	利用者ご本人が安心して通ってもらえるような教室作りを目指します。
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	22	4	0	2	・毎回とても楽しみにしています。 ・毎回楽しくかよっています！安心して預けられます！ ・毎回とても楽しみなようです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1	0	0	・できる事が沢山増えて感謝しています。 ・支援ではなく環境面で、どうしても4人のお迎えが同時刻で被ると玄関がすごい密集度になるので、もう少し土足で入れるスペースを広げてもらえるとありがたい。 ・助かっています！ ・苦手な事を学べるのでとても助かります ・いつもありがとうございます。やってもらいたいと伝えるとすぐに活動に取り入れてもらえ、毎回活動報告を丁寧に頂き安心して通うことが出来ています。これからもよろしくお願いします。	利用者様に満足いただけるような教室を目指していきます。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと西日暮里教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・人数によっては個室対応が難しい場合もあるが、仕切りでわけてセラピーを行う等している。	・玄関が狭いためマットを新たに購入して対応する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・概ねたりている ・一対一対応できる状況にある。 ・基本一対一なのが安心(Thも親御様も)と思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・四角的にわかるようにしてある(絵や文字など) ・部屋のなまえ等わかりやすくイラスト入りで提示されている。 ・各部屋に「〇〇部屋」と名前が振られていたり、子ども用トイレを設置したり、子どもにとってわかりやすく過ごしやすい環境だと思う。 ・週に一度、次亜塩素酸水溶液で個室、大部屋の床を清掃している。 ・子どもにわかりやすい動物の名前で部屋割りしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎クールごとに清掃している ・清掃、消毒を適宜行っている ・清潔に保つ努力はしているが、空気の循環が悪い。 ・毎日の掃除、月一の掃除	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・個室や大部屋をマット等で区切って使用することができる ・個室を3つ完備している。 ・臨機応変に対応していると思う	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・職員ミーティングと個別面談を適宜行っている。 ・毎月目標を設定し、終礼時にふりかえりをしている。 ・毎月職員MTで話せていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・改善が必要な部分是对应している。 ・LINEでの一斉配信等を使用し、工夫して意向を伺うことができている ・行っていると聞いています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・月の目標等を話し合って決めている。 ・管理者による定期的な面談や職員ミーティングの機会が設けられている。 ・職員ミーティングで話し合いを行っている。 ・月例会議や個別面談を月に一回 ・この従業員用自己評価用紙がそうだと思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・社内管理部門の人間が定期的に評価している。 ・外部評価を受けていると共有してもらって知った。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・毎月研修の参加機会を設けている。 ・研修の機会が多い(labo等) ・毎月受講したい研修を選べる。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・毎年公表している。 ・一人一人の支援計画を作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・こどものスキルと保護者のニーズの両面を考慮しながら作成している。 ・たくさんの職員で一人のお子さんのセラピーに入るから、客観的に分析できていると思う。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・計画原案を職員に見えてもらい、意見をしてもらうようにしている。 ・付せんで管理者に共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・職員はいつでも支援計画を確認することができるようになっている ・児発管が作成した個別支援計画書を他の職員が回覧し、支援プログラムを調整している。 ・ファイルがいつでも見れる状態にある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・全ての児童が共通のデータシートを使用して評価をうけている。 ・すべての子どもが同じデータシートを使用している。個別支援計画に記載されていないことでも、子どもの行動で気になる点があればデータに残している。 ・評価の基準が明確、共通のファイル使用(青いファイルに記載している。)	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・全ての領域について記載済み。 ・個別計画で踏まえていると思う。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・ミーティングや日々の振り返りの中で相談している。 ・セラピーをしている中で、プログラムに疑問がうまれた時は、終礼時に共有・相談できるよう機会を設けている。 ・概ねその日やることは担当が決めるが、前のセラピーの様子など共有して立案している。	職員会議等を定期的に行いながら、都度支援内容の更新を図り、実施している。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの定期的な実施等同じ課題で固定化しないようにしている。 ・一日一日担当する職員を変えることで色々なプログラムの実施が可能。 ・実施したプログラムは日付を記載し、同じプログラムが続かないようにしている。 ・製作などは折り紙、のり、ハサミがかぶらないように意識している。 	一人のお子さんに対し、担当制を設けず、様々な職員が介入するようにしており、同じプログラムが重複しないようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎クール小集団活動(体操やはじめの会など)提供している。 ・日々行われている。 ・集団活動やピアトレなども行っている。(RW・はじめの会) ・一斉指示やお友達との関わりに支援が必要なお子様は集団活動の時間を設けている。 ・一人一人の目標を意識して集団、個別行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼にて確認を行っている。 ・朝礼で連絡事項などを確認する時間が設けられている。 ・毎朝朝礼にて特異事項の共有をしている。 ・朝礼、掃除当番 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼にて確認を行っている。 ・日々行われている。 ・終礼時、お子さんのセラピー振り返りの時間があり、全体に共有する機会がもうけられている。 ・終礼時、セラピー中気づいた点を職員間で共有している。その場にない職員に向けて書面にて記録している。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回記録をしている。 ・各個人に個別ファイルがあり、日々のセラピーを記録している。 ・必ず記録におとしている。 	園訪問以外の交流も今後模索していきたいと考えている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行い、面談等を行っている。 ・管理者がセラピーに入ったり、親御さんに見学してもらう中で計画見直しの面談が行われている。 ・支援計画書にある課題が達成された、あるいは、進捗が悪い時には児発管に報告している。 ・定期的に計画は更新している。 	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や書面にて行っている。 ・会議はしていないが、電話などで共有はしている。 	電話や書面での情報のやり取りは行っている。実地での参画も今後検討する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ訪問等実施している。 ・他事業所などとはすでに連携しているところもあり、体制は整っている。 ・園や保育所と連携 ・保護者の方の要望があれば通所されているお子さんの保育園当に見学へいく。 ・保育園、幼稚園、他療育施設での状況は共有している。 	
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜情報共有をしている。 ・園訪問等 ・相談支援の方とお子さんの現状について共有している。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・要望に合わせて療育内容報告書の作成を行っている。 ・小学校等に療育の情報提供をすることがある。 ・親御さんから就学についての相談を受け、情報を共有したりはしている。必よに応じて小学校との間で共有している。 ・情報共有をしているお子さんもいる。 	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望に応じて園訪問など行っており交流はできている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問以外の交流はない。 ・園訪問など園と関わる機会はあるが、他の子どもと活動する機会はない。 ・園訪問はあるが他の子どもとの交流はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳と口頭にて実施済 ・療育についてのフィードバック等を通じて共通理解を持っていると思う。 ・セラピー終わりに親御さんへのF.B.の時間が設けられている。 ・連絡帳やおむかえ時のF.B.の際、頑張ったところや気になっているところを保護者の方に共有している。 ・毎回F.B.している（口頭、連絡帳） 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてプログラムの詳しい説明ややり方などを親御さんに共有している。 ・ペアトレしている。 	・本年度は職員が研究の一環として行ったが、定期開催はしていない。今後実施できるように前向きに検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約、面談時に行っている。 ・見学や契約の際に行っているし、質問などあれば適宜対応している。 	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・可能な限り意向をくむようにしている。 ・ご家族の意向もふまえて（面談など）計画している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・同意を得てから療育開始の流れで行っている。 ・計画立案することに行っている。 ・サインの場所がある。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・定期的に行っている。 ・保護者からの要望に応じて行っている。 ・F.B.時など ・定期的な管理者との面談や毎回のF.B.	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・要望あるができていない。 ・毎年保護者会等の希望はあるので対応を検討している ・今後実施予定 ・保護者からの希望は毎年あるため検討中
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・可能な限り対応している。 ・F.B.時に保護者の方から伺った話は、終礼時、職員間で共有し、今後の対応やセラピーに反映させている。 ・F.B.での相談は終礼で職員に共有	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・定期的に発信している。 ・新聞やInstagramを運用している(4名)。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・不必要に外部にでないようにしている。 ・持ち出し禁止やシュレッターでの管理	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・言葉のチョイス等、配慮している。 ・絵カード、写真等を使用している。 ・お子さんの「課題」だけではなく、成長しているところ、伸びているところ、今後の指針を伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・招待はしていないが、地域の病院等にパンフレット郵送など情報発信している。 ・招待はしていないが、情報発信はしている。	・お子さんのプライバシー保護や安全面管理の観点から、なかなか外部に向けた積極的な発信は現状できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・毎年定期的に行っている。 ・火災訓練を行った。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・毎年定期的に行っている。 ・定期的な避難訓練などを実施している。 ・行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に確認している。 ・個別支援計画書にて、お子さんの体調、服薬状況を把握している ・情報は共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・基本的に飲み物以外の食品を扱わないが契約時に確認している。 ・療育中に水分補給以外で飲食することはないが、アレルギー等の情報は保有している。 ・食物を扱うことはないが、アレルギー情報については共有している。 ・セラピーで使用するファイルに、そのお子さんのアレルギー物質を貼り周知を徹底している。 ・食べ物の基本使ってないが、アレルギーは把握している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・毎年行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時に案内している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・終礼時、ミーティング時に確認している。 ・毎年研修している。 ・ヒヤリハットが発生する都度共有している。 ・ヒヤリ報告書があり、何かあった際は職員間や親御さんにすぐ共有するようにしている。 ・毎日ヒヤリがあったかを職員間で確認し、未然に事故を防ぐようにしている。 ・ヒヤリハットの内容、改善案を書く書類がある。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・毎年研修して。 ・定期的に研修を行っている。 ・令和7年度は10月31日に職員全体の虐待研修を実施 ・職員MTで研修を行った。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		

事業所における自己評価総括表			
公表			
○事業所名	てらびあぼけっと西日暮里教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 10 月 17 日 ～ 令和7 年 11 月 15 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和47年 10 月 17 日 ～ 令和7年 11月 15 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12 月 12 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の発達に合わせた、個別・小集団を織り交ぜたセラピーを提供している。	個別の際も小集団の際も、それぞれ目標を設定し、それらを達成できるような支援を提供できるようにしている。	引き続き、個別・小集団活動を織り交ぜながら、包括的な支援を目指していく。
2	日々の朝礼や終礼、また月次会議の場で、利用児童の課題や情報を、職員間で共有することが出来ている。	申し送りノート等のツールを用いて共有事項は記録するようにしているので、休み等でミーティングに参加出来ない場合でも、共有漏れがないようにしている。	引き続き、日々の定期的な朝礼、終礼及びミーティングの定期的な開催は継続して行う。
3	安全管理体制をしっかりと取りながら、日々の療育を行っている。	適切な業務時間の管理や、ヒヤリハット対策など、利用者が安心して通えるように、安全管理の徹底を職員間で周知し、それに基づいて業務に臨んでいる。	引き続き、安全管理体制を整えていき、利用者本人や保護者が安心して通える教室作りを目指す。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や交流会を実施できていない。	療育や営業、書類作成等、日常的な業務量やマンパワー不足からいまだに実施できていない。	保護者からの要望は、毎年出ている。年間で行う業務として今後実施できるように、引き続き検討していく。
2	地域の関係機関との関わりが少ない	保護者より要望のあった児童に関しては園訪問等を実施しており、連携を取れている所もあるが、訪問以外での関わりは少ない。	まずは、訪問等の支援をやっている事を保護者や機関に周知していくが必要かと考えている。事業所新聞やSNSで定期的な情報発信に努める。
3			